

平成5年8月15日



▲もくじ

学長挨拶 戸澤康壽	2	会則改正案	9
支部情報局	3	大同工業大学同窓会役員	15
キャンパス情報館	4	同窓会創立30周年記念のご案内	16
DI T情報部	5	編集後記	20
事務局情報部	6		



An alumni bulletin

新学長挨拶

戸澤康壽

藤原前学長のあとを受け、この4月より学長に就任致しました。まだ数ヶ月しか経っておりませんが、責任の重大さをひしひしと感じる毎日です。

近頃大学はよく冬の時代と言われます。これは具体的には18才人口が今世紀末には現在の%に減少することに基いています。このような若年層の急減期を迎えて、政府としても大学の存在価値を高めるための方策を検討しているようで、設置基準の大綱化はその一つと考えられます。設置基準の大綱化とは、簡単に言えば、従来は卒業資格を与えるためには、人文、社会、外国語等々、それぞれについて必要履修単位数が決められており、単位の計算方法も定められていましたが、それらについての制約が取り除かれて、各大学で取り決めることになったということです。すなわち大学に自由度が与えられて、それぞれの大学で理想とする教育ができることになったわけですが、当然ながらそれだけ大きな責任を持たされることとなります。

ところで本学の理想とする教育とはなにでしょうか。本学のいろいろなパンフレットに錦織初代学長の提言された「実学教育」という言葉が教育理念として出ています。この言葉は深味があり、建学の精神とも考えられる立派なものだと思います。しかし簡潔な言葉であるだけに、解釈が人によって違うということも聞きます。現在、学内に教育目標や理念を見直す委員会が置かれており、近々その検討結果が出されると

思いますが、私が個人的に考えていますことを紹介させて頂きたいと思います。

私は、工学の最終目的は人類の幸せな生活を創り出すことだろうと思います。そうだとすれば、専門的な工学者・技術者であるまに、立派な社会人であることが必要だと思えます。そういう観点からしますと、人文科学、社会科学といった、いわゆる一般教養課目の重要性が浮かんできます。人格形成のために絶対必要な学習科目だと思えます。しかし一方では、専門家としての知識を持つことも、将来技術者として仕事をしていくために是非必要です。どれもこれも必要だとして、つめ込むことはかえってマイナスになるので、そこにこれからの工夫が要るところでしょう。技術者として備えていなければならない常識、持っていなければならない一般教養、それを議論して教育のやり方、カリキュラム等を決めてゆくべきでしょう。これらのことについても専門の委員会で検討している最中ですので、間もなく本学の理想とする教育の姿が固まることと思えます。

話は変わりますが、来年は本学設立30周年に当たります。この時期をとらえて、21世紀へ向けた一大飛躍のスタートとしたいと思っています。それには何といたっても卒業生の皆様のご協力、ご援助が必要です。何卒倍旧のご支援をお願いします。大学は当然ながら頑張りますのでよろしく。



支部情報局

あいち支部

年間行事予定及び総会のご案内

今年度は「もう一步踏み出して、もうひとつの出会いを体験してみませんか」をテーマに、会員相互の親睦と交流をはかりたいと思っています。

行事予定

- 9月——講演会及び総会
- 11月——あいち支部会員親睦ゴルフコンペ
- 1月——スキーで遊ぶ会(木曾駒ゼミナーハウス)
- 2月——スキーファミリー大集合(木曾駒ゼミナーハウス)
- 4月——会員増強キャンペーン
- 5月——大学教職員と卒業生による親睦ゴルフコンペ

分科会リーダー

講演会	——	青山 正治(67M)	西山 益立(69M)
総会	——	近藤 繁晴(67M)	神谷登司雄(69M)
ゴルフ	——	前野 末光(65E)	田辺 幹知(67M)
会員広報	——	藤田 進(67M)	下郷 正二(68M)

※詳細につきましては、あいち支部までご連絡下さい。
TEL 052-532-1755 あいち支部事務局 田辺

総会

第2回総会を下記の如く実施したいと思います。会員はもちろん、まだ会員になってみえない方も、お忙しいとは存じますが、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日時：平成5年9月18日(土)
 場所：愛知会館
 総会：午後5:00～5:30
 講演：午後5:30～6:30
 懇親会：午後6:30～8:00

講演者

大同工業大学名誉教授
 横井時秀
 演題
 「鉄の歴史を訪ねて
 今と昔」

住友生命ビル

地下鉄千種駅

愛知会館

JR中央線
千種駅

卒業・学業成績証明書申込方法

1. 来学して申し込みされる場合

滝春校舎1階、教務課にて下記事務取扱時間内に申し込みして頂ければ、すぐ交付します。
なお、英文については即日交付できません。

	通常期間	各季休業期間
月～金曜日	8:30～16:30	9:00～16:00
土曜日	8:30～12:30	9:00～12:00

2. 郵送で申し込まれる場合

次の①～③までを同封して、郵送していただければ、到着後交付し、郵送いたします。

① 証明書の発行手数料

卒業証明書 1通 …… 100円〔英文 500円〕

学業成績証明書 1通 …… 100円〔英文 500円〕

必要数分の代金を、【現金書留で郵送】又は【郵便局発行の定額為替】でお願いします。
なお、代金を【切手】で申し込みされた場合には、交付できません。

② 返信用封筒

住所、氏名を書いて、申込数にあわせて切手を添付して下さい。速達希望の場合は速達料金(210円)を加算して下さい。

	1通	2通以上	5通以上	英文1通
切手代金	62円	72円	175円	120円

③ 申込用紙(書式は任意で結構です)

「氏名」「学籍番号」「生年月日」「証明書の種類と必要数」を必ずご記入下さい。

英文の場合は、「氏名(ローマ字)のスペル」「証明書の使用目的」を必ず書き添えて下さい。

- 英文の証明書作成には、日数(約1週間)がかかります。日数に余裕を見て申し込み下さい。
- 郵送の場合は、日数にある程度余裕を見て申し込み下さい。

申込・お問い合わせ

大同工業大学 教務課 〒457 名古屋市南区滝春町10-3
☎ (052) 612-6111(代表)
(052) 612-6204(直通)

職員異動

新任者

細井祐三(機械工学科教授)、近藤芳孝(電気工学科教授)、金見壯至(応用電子工学科教授)、瀬尾文彰(建設工学科建築学専攻教授)、松浦均(教職課程講師)、藤平莊次郎(学園本部)、菊池五郎(総務課嘱託職員)、持原廣美(総務課嘱託職員)、澤田重夫(工作実験実習室嘱託職員)、山口録之助(工作実験実習室嘱託職員)、栗本由香里(教務課嘱託職員)、若松亜紀子(教務課嘱託職員)、竹内ゆり子(就職指導課嘱託職員)

退職者(平成4年度)

有馬文雄(一般教養社会教室教授)、松原敏浩(教職課程教授)、横井時秀(機械工学科教授)、野村重(機械工学科助教授)、川井栄一(電気工学科教授)、河内陸雄(建設工学科土木工学専攻教授)、浜田邦裕(建設工学科建築学専攻講師)、柴田長吉郎(応用電子工学科教授)、安達芳夫(応用電子工学科教授)、神田博邦(工作実験実習室嘱託職員)、堀田賢治(白水事務分室嘱託職員)、山本浩美(教務課嘱託職員)

平成6年度の学生募集要項のご案内

平成6年度の学生募集要項が決定いたしました。同窓会会員の特典として願書無料請求ができます。ご利用下さい。

▲同窓会員特典

右下の入学願書請求券を封書またはハガキに貼って、住所、氏名、学籍番号を明記の上、下記までご請求下さい。なお、大学院(修士課程)入学願書も同封にて請求できますのでご利用下さい。

▲入試についての問い合わせ先

〒457 名古屋市南区滝春町10-3
大同工業大学 入試広報室
TEL (052) 612-6117(直通)

募集人員

工学部	機械工学科	195名
	電気工学科	130名
	建設工学科土木工学専攻	80名
	建設工学科建築学専攻	80名
	応用電子工学科	110名
大学院	機械工学専攻	8名
	電気・電子工学専攻	12名
	建設工学専攻	8名

学部

種別	出願期間	試験日	試験会場	合否発表
女子特別推薦入学試験	H 5 . 9 . 27(月)~ H 5 . 10 . 7(木)	H 5 . 10 . 17(日)	本学	H 5 . 10 . 21(木)
推薦入学試験	H 5 . 10 . 8(金)~ H 5 . 10 . 27(木)	H 5 . 11 . 14(日) または H 5 . 11 . 15(月)	本学・静岡・松本・大阪 金沢・広島・高松	H 5 . 11 . 26(金)
特別奨学生入学試験	H 5 . 11 . 18(木)~ H 5 . 12 . 1(火)	H 5 . 12 . 11(土)	本学・静岡・松本・大阪 金沢・広島・高松	H 5 . 12 . 20(月)
第一次入学試験	H 6 . 1 . 10(月)~ H 6 . 1 . 25(火)	H 6 . 2 . 6(日) 機械・土木・応用電子 H 6 . 2 . 7(月) 電気・建築	本学・東京・静岡・松本 大阪・金沢・広島・高松	H 6 . 2 . 17(木)
第二次入学試験	H 6 . 2 . 21(月)~ H 6 . 3 . 4(金)	H 6 . 3 . 13(日)	本学・東京・静岡・松本 大阪・金沢・広島・高松	H 6 . 3 . 19(土)

大学院

種別	出願期間	試験日	試験会場	合否発表
一次募集	H 5 . 9 . 16(木)~ H 5 . 9 . 22(木)	H 5 . 10 . 1(金)	本学	H 5 . 10 . 14(木)
二次募集	H 6 . 2 . 10(木)~ H 6 . 2 . 18(金)	H 6 . 2 . 25(金)	本学	H 6 . 3 . 11(金)

事務局情報室

総会議事

平成5年5月22日(土)、名古屋ターミナルホテルにおいて第28回総会が開催されました。以下の議案について審議され、承認されました。総会后、同会場において藤原理事長、戸澤学長の臨席を賜り、懇親会が和やかに行われました。

議案1 平成4年度会務報告

期日	行事	支部活動
4年4月18・19日		北陸支部総会・懇親会 福井越前海岸「越前赤坂」
4月20日	第2回評議員会	
5月14日	第4回学内評議員会	
5月20日	私立大学同窓会連合会総会	
5月24日	第27回総会開催・懇親会	
6月19日		滋賀支部総会・懇親会 彦根市「サンルート彦根」
6月20日		香川支部総会・懇親会 高松市「ますもと」
6月20日		大阪支部総会・懇親会 大阪市「すし半」
6月28日		関東支部総会・懇親会 浅草「葵丸進」
7月1日	第5回学内評議員会	
7月3日		静岡支部総会・懇親会 静岡市「魚兼」
8月9日		三重支部総会・懇親会 松阪市「フレックスホテル」
8月25日	同窓会報18号発行、フルカラー化	
8月28日	第6回学内評議員会	

9月1日	同窓会加入勧誘 (対象者：新学卒・院修生)	
9月25日	第7回学内評議員会	
9月27日		あいち支部設立総会 名古屋市「愛知会館」
10月2日	学生育成事業・設立準備発足	
11月18日	第8回学内評議員会	
平成5年1月1日	同窓会報19号発行 会員所在調査	
1月25日	第3回評議員会	
2月15日	第9回学内評議員会	
2月23日	第4回評議員会	
3月14日		豊田支部総会・懇親会 豊田市「みと浜」
3月23日	第5回評議員会	
3月25日	新会員へ「会員名簿」贈呈	

議案2 平成4年度決算報告

議案3 平成4年度監査報告

議案4 評議員及び役員の選任・解任

- ・会則第4条に基づく名誉会長の交替
解嘱 藤原達雄先生 理由：大学長の任期満了 委嘱 戸澤康壽先生 大同工業大学学長
- ・新評議員（5名）追加
選任 評議員 名倉満雄君 (66E037) (株)大同機械製作所
選任 評議員 宮本一男君 (67M093) ㈱みやもと
選任 評議員 藤原歳久君 (75A140) Fujiwara Urban Design
選任 評議員 青山健彦君 (77A002) 青山商事
選任 評議員 加藤雄治君 (87D032) (株)エルモ社
- ・役員の解任・選任
解任 会計 野村重信君 (66M080)
選任 会計 大矢郁夫君 (72M052)

[任期=平成5年度]

議案5 学生育成事業規程(制定)

議案6 会則改正(案)

議案7 平成5年度会務計画案

期日	行事	支部活動
平成5年4月5日	第10回学内評議員会	
4月22日	第5回評議員会	
5月6日	第11回学内評議員会	
5月22日	第28回総会・懇親会開催	
5月	創立30周年実行準備始動	
6月	学生育成事業開始	
6月	大同・滝春開発計画研究会始動	
6月26日		関東支部総会・懇親会
6月25日		静岡支部総会・懇親会
7月2日		香川支部総会・懇親会
7月16日		滋賀支部総会・懇親会
7月17日		大阪支部総会・懇親会
月		北陸支部総会・懇親会
月		豊田支部総会・懇親会
月		三重支部総会・懇親会
8月 日		
8月 日	同窓会報20号発行	
9月1日	同窓会員の加入勧誘 (対象者：新学卒・院修生)	
9月18日		あいち支部総会・懇親会
平成6年1月1日	同窓会報21号発行 会員所在調査・同窓会カード利用者募集	
3月25日	新会員へ「会員名簿」贈呈	

議案8 平成5年度予算案

報告事項

- 同窓会創立30周年記念行事(案)
 - 開催期日 1994年10月30日(印)の午後2時より
 - 場所 名古屋東急ホテル(予定) ☎251-2411 中区栄4
 - 趣旨(テーマ) 大同工業大学同窓会は、創立30周年を記念して、全国の同窓生が集い、仮称「自然を愛でる心のゆとり」を統一テーマとして旧好を致し、明日の21世紀を語り合う場を提供するために記念事業を挙げる。
 - 企画 1.記念パーティー 2.記念講演会 3.独自企画(立案・企画中)
- 支部長の交替

退任：豊田支部長 佐藤 洋君 (62M018)
着任：豊田支部長 加賀日出男君 (64M094) 欄三五 [93.3.14付]
- 同窓会カードの発行(案)
- 事務局組織と局員

2万人体制への組織作りと事業推進のために、会員名簿の整備、会則の改正および学生育成事業を遂行する上で、大学在籍事務局員(教職員)への負担を軽減化するために、一部の仕事を専属アルバイトに依頼する。
- 大同・滝春開発計画研究会(仮称)発足

平成4年度会計決算

(H4.4.1~H5.3.31)

1 一般会計

収入の部

科目(項目)	決算額(円)
前年度繰越金	1,761,320
雑収入	88,760
預金利子	84,835
入会金(680名)	6,780,000
終身会費(680名分)	13,566,000
合計	22,248,915

支出の部

科目(項目)	決算額(円)
総会費	300,000
支部活動援助金	1,345,154
事務費	1,940,186
名簿作成費	288,320
会報作成費	3,786,710
技術協会援助金	300,000
同窓会連合会	329,240
特別会計繰入れ	12,000,000
学生育成事業費	44,688
税金	15,324
予備費	335,526
次年度繰越金	1,553,787
合計	22,248,915

2 特別会計

収入の部

科目(項目)	決算額(円)
前年度繰越金	46,801,032
預金利子	2,200,711
一般会計より繰入れ	12,000,000
合計	61,001,743

支出の部

科目(項目)	決算額(円)
税金	440,043
次年度繰越金	60,561,700
合計	61,001,743

上記の通り報告致します。

平成5年5月22日

大同工業大学同窓会 会計 井上孝司/野村重信
監査の結果上記の通り相違ないことを認めます。

平成5年5月22日

大同工業大学同窓会 監査 山野清市/大沢 正

平成5年度会計予算案

(H5.4.1~H6.3.31)

1 一般会計

収入の部

科目(項目)	予算額(円)
前年度繰越金	1,553,787
雑収入	80,000
預金利子	100,000
入会金(679名)	6,780,000
終身会費(679名分)	13,580,000
合計	22,103,787

支出の部

科目(項目)	予算額(円)
総会費	500,000
支部活動援助金	1,500,000
事務費	2,150,000
名簿作成費	400,000
会報作成費	3,300,000
同窓会連合会	300,000
学生育成事業特別会計繰入れ金	700,000
特別会計繰入れ	10,000,000
税金	30,000
大同滝春地区開発研究事業費	1,000,000
30周年記念事業準備費	500,000
予備費	350,000
次年度繰越金	1,373,787
合計	22,103,787

2 特別会計

収入の部

科目(項目)	予算額(円)
前年度繰越金	60,561,700
預金利子	2,000,000
一般会計より繰入れ	10,000,000
合計	72,561,700

支出の部

科目(項目)	予算額(円)
税金	300,000
次年度繰越金	72,261,700
合計	72,561,700

3 学生育成特別会計

収入の部

科目(項目)	予算額(円)
一般会計より繰入れ	700,000
学生育成賛助金	1,000,000
合計	1,700,000

支出の部

科目(項目)	予算額(円)
学生育成事業	700,000
次年度繰越金	1,000,000
合計	1,700,000

大同工業大学同窓会会則 改正案

主旨

現行の会則は、昭和40年に施行され、これまでに7回にわたって改正されてきました。その内容は役員組織、会費に関わるものであります。今回の改正は全面的な見直しをするものです。

現在、同窓会会員が1万名をこえ、会員相互の親睦および母校の発展に寄与する上で、現行会則では組織、運営、事業の実行において十分に網羅できなくなっております。さらに、各支部や愛知私立大学同窓会連合会などと対外的

に活動する上におきましても本同窓会の将来を十分に見据えた会則が必要であり、組織充実をはかる時期にあると考えられます。

これまでの同窓会本部は、評議員主体に活動されてきました。これは、小規模体制下では十分機能いたしました。しかし、業務内容が多様化し、拡大化した現在においては、本部組織のさらなる活性化および業務を分科することが必要であります。

以下の会則改正案をお読み戴き、ご質問、ご意見等がありましたら、同窓会事務局までご一報下さい。

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、大同工業大学同窓会(以下「本会」という)と称する。

(本部および支部)

第2条 本会は、本部(事務局)を大同工業大学内に置く。

2 本会は、理事会の議決により必要に応じ、支部を設けることができる。

(事務局)

第3条 本会は、事務局を設ける。

第2章 目的および事業

(目 的)

第4条 本会は、会員相互の和親の向上を図り、大同工業大学の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 会員名簿の発行
- 会報、その他の刊行
- 研究会、講演会等の開催
- 会員相互の親睦事業
- 学生育成に関する事業
- 大同工業大学の発展のための事業
- その他、必要な事業

第3章 会 員

(会員構成)

第6条 本会は、正会員、学生会員、委託修了会員、

賛助会員をもって組織する。

(会員資格)

第7条 本会会員の資格は、次に定める者とする。

- 正会員 大同工業短期大学、大同工業大学を卒業または大同工業大学大学院を修了した者
- 学生会員 大同工業大学または大同工業大学大学院に在籍する者
- 委託修了会員 大同工業大学の委託課程を修了した者
- 賛助会員 本会の目的に賛同し、その事業を援助するもので、理事会の承認を得た個人および団体

(会員の義務)

第8条 本会の会員は、別に定める規定により、入金および会費を納めなければならない。

第9条 正会員は、総会を組織して、総会の議決に合わなければならない。

2 会員は、本会の目的とする事業に積極的に協力しなければならない。

(資格喪失)

第10条 会員で、本会の義務に違反した場合または本会の名誉を著しく傷つける行為をした場合には、理事会の議決により除名することができる。

第11条 会員は、次の場合資格を喪失する。

- 死亡または失踪
- 除 名
- 入金金及び会費が納付されない場合

(資格の復帰)

第12条 前条で、資格を喪失した者で、その後資格

喪失の事由が解消し、申し出があった場合、理事会の議決によって資格を復帰することができる。

(名誉会長、名誉会員および特別会員)

第13条 本会は、名誉会長、名誉会員ならびに特別会員をおくことができる。

- (1) 名誉会長 大同工業大学学長とする。
(2) 名誉会員 本会の目的とする事業の運営に貢献を与えた者で、理事会の推薦により総会で承認された者
(3) 特別会員 大同工業大学および大同工業大学大学院の専任教職員とその旧専任教員

第4章 役員

(役員)

第14条 本会は、次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
(2) 副会長 4名
(3) 常任理事 数名
(4) 理事 若干名
(5) 評議員長 1名
(6) 副評議員長 1名
(7) 評議員 若干名
(8) 事務局長 1名
(9) 会計監査 2名

(役員を選出および委嘱)

第15条 本会の役員を選出および委嘱は、次に定める。

- (1) 評議員は、正会員の互選により選出し、総会で承認を得る。
評議員は、各支部より1名以上選出する。
(2) 理事は、評議員会で評議員のうちより選出し、総会で承認を得る。ただし、理事の任期中は、評議員を兼任できない。
(3) 会長は、理事であり、評議員会で選出し、総会で承認を得る。
(4) 副会長、常任理事および事務局長は、理事の互選とし、評議員会ならびに総会で承認を得る。
(5) 評議員長および副評議員長は、評議員の互選とし、総会で承認を得る。ただし、理事は兼務できない。
(6) 会計監査は、正会員のうちから評議員会において推薦し、総会で承認を得る。ただし、理事は兼任できない。

(役員職務権限)

第16条 役員は、次の職務を行う。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

会長は、理事を召集し、理事会を構成する。会長は、理事会の議長となる。

- (2) 副会長は、会長を補佐し、会務を分担する。会長に事故あるときはその職を代行する。
(3) 常任理事は、会長、副会長を支え、本会の企画・運営に参画する。常任理事は、必要に応じて常任理事会を構成することができる。
(4) 理事は、総会および会務執行の審議に参画する。
(5) 事務局長は、会務の執行にあたる。事務局長は、事務局を構成し、事務ならびに会計を掌理する。
(6) 評議員長は、評議員を召集して評議員会を構成し、重要事項を監査する。評議員長は、評議員会の議長となる。
(7) 副評議員長は、評議員長を補佐し、評議員長に事故あるときはその職を代行する。
(8) 会計監査は、本会の会計の執行を監査する。

(役員任期)

第17条 本会の役員任期は3年とし、重任を妨げない。

- 2 欠員により補充した役員任期は、前任者の残任期間とする。
3 役員は、任期満了に至っても、後任者が選出されるまではその職責を果たさなければならない。

(事務局員)

第18条 事務局は、事務局員をおく。

- 2 事務局員は、会長が任命する。
3 事務局員は、事務局長が監理・監督する。

第5章 総会

(総会)

第19条 総会は、原則として1年に1回これを開催する。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことがある。

- 2 総会は、正会員で構成し、会長が召集する。
3 総会の議長は、会長があたる。会長が事故あるときは、会長より委任された副会長があたる。

第20条 総会においては、次の事項について議決または承認を行う。

- (1) 事業報告ならびに収支決算
(2) 事業計画ならびに収支予算
(3) 役員を選出
(4) 会則の改廃
(5) 入会金および会費に関する事項
(6) その他重要な事項

(総会の議決)

第21条 総会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

第6章 会議

(理事会)

第22条 理事会は、理事で構成し、本会の企画・運営方針などの審議機関となる。

- 2 理事会は、会長が召集し、議長となる。
3 理事会は、理事の過半数の出席で成立し、議事は出席者の過半数をもって議決する。
4 会長は、次の事項について審議しなければならない。
(1) 事業報告ならびに収支報告
(2) 事業計画ならびに収支予算
(3) 役員を選出
(4) 会則の改廃
(5) 入会金および会費に関する事項
(6) 会務執行
(7) その他重要な事項
5 会長は、評議員会に決議事項の意見を求めなければならない。

(評議員会)

第23条 評議員会は、評議員で構成する。

- 2 評議員会は、評議員長が召集し、議長となる。
3 議長は、次の事項について意見を聞き、理事会に報告しなければならない。
(1) 事業報告ならびに収支報告
(2) 事業計画ならびに収支予算
(3) 役員を選出
(4) 会則の改廃
(5) 入会金および会費に関する事項
(6) その他重要な事項

(役員会)

第24条 役員会は、第14条に定める役員で構成する。

- 2 役員会は、会長が必要に応じ、召集する。
3 役員会の議長は、会長があたる。

第7章 会計

(会費)

第25条 本会の経費は、入会金、会費、寄付金および事業によって生じる果実などの資産をもってあてる。

(会計年度)

第26条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第8章 支部

(支部の設立)

第27条 会員は、支部の設立を本会に申し出ることができる。

- 2 支部は、本会の目的に沿った活動を行わなければならない。
3 支部は、本則第15条1項(1)号に定める評議員

を選出せねばならない。

第28条 支部は、別に定める規定に基づき、支部規約を理事会の承認を得てつくることができる。

第9章 解散

(解散)

第29条 本会の解散は、理事会、評議員会および総会において、出席者の4分の3以上の議決および承認を得る。

(財産の処分)

第30条 本会解散にともなう残余財産の処分は、理事会、評議員会および総会の議決および承認を得て、本会と類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第10章 付則

(細則規定)

第31条 本会則に定めていない細則については、理事会において議決する。

(施行期日)

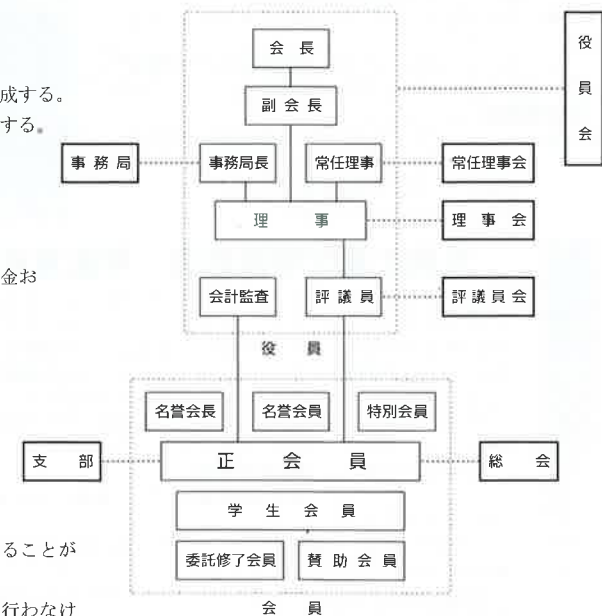
第32条 この会則は、昭和40年11月21日から施行する。

(制定)

2 この会則は、平成 年 月 日から施行する。

(全面改正)

大同工業大学同窓会組織図



大同工業大学同窓会 学生育成事業規程

(事業の目的)

第1条 この学生育成事業(以下「本事業」と称する)は、大同工業大学同窓会会員の総意と協力に基づいて、大同工業大学に在籍する学生の学業・クラブ活動などに援助を行う。加えて母校の発展・支援を図ることを目的とする。

(事業)

第2条 本事業は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1) 学生の個人またはグループのユニークな課外活動に対する援助
- 2) 学生の学業充実に関する援助
- 3) 経済的に修学困難な学生に対する奨学金の支給
- 4) 在籍中にユニークな活躍をした学生の奨励
- 5) 進路研究のための情報の提供
- 6) その他、本事業の目的を達成するために必要とする有益な事業

(事業の運営資金)

第3条 運営資金は、同窓会の育成事業費、個人および団体より寄せられた賛助会費、ならびにその他の個別事業費をもって当てる。

(賛助会員の資格)

第4条 賛助会員は、本事業の目的に賛同する個人および団体よりなる。

- 2 賛助会員の資格種類は、個人賛助会員および団体賛助会員とする。

第5条 賛助会員の資格期間は、年会費として賛助会費を納付された年度に限る。

(賛助会費)

第6条 賛助会費に関する細目は、別に定める。

(会計)

第7条 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

- 2 会計は、同窓会学生育成事業特別会計で年度毎に明らかとする。

(運営委員会)

第8条 本事業の運営のために学生育成事業運営委員会を置く。

- 2 委員長は、同窓会会長とする。
- 3 委員は、同窓会会長が委嘱する。

第9条 運営委員会は、委員長および委員で構成する。委員会は、必要に応じ委員長が召集する。

第10条 委員会の議事は、出席者の過半数で議決する。

第11条 委員は、本事業の企画・運営に参画し、事業遂行に関わる職務を行う。

第12条 委員の任期は、3年とし、再任を妨げない。

- 2 欠員により補充した委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員は、任期満了に至っても、後任者が選出されるまではその職責を果たさなければならない。

(事業の報告)

第13条 委員会は、同窓会総会において事業の活動報告を行わなければならない。

(事業の改廃)

第14条 本事業の解散は、同窓会の評議員会において、出席者の4分の3以上の議決を経て、同窓会総会によって決する。

- 2 残余財産の処分は、同窓会に委任する。

第15条 本規程の改廃に関しては、同窓会の評議員会の承認を得なければならない。

(事務)

第16条 本事業の事務取扱は、同窓会事務局にて行う。

付則

- 1 この規程に定められていない細目については、運営委員会において定める。
- 2 この規程は、平成5年5月22日から施行する。

大同工業大学同窓会 学生育成事業賛助会費細則

第1条 大同工業大学同窓会 学生育成事業規定第6条の賛助会費は、次の規則により行う。

第2条 賛助会費の年額は、次の通り定める。

- 1) 個人賛助会費 一口 2,000円以上
- 2) 企業賛助会費 一口 20,000円以上

第3条 納入された賛助会費は、いかなる理由があっても、これを返還しない。

第4条 この細則の改正は、同窓会の評議員会において、出席者の4分の3以上の議決を経なければならない。

大同工業大学同窓会 学生育成事業賛助会員募集

平成5年5月22日に開催された第28回(第13期)総会に於て学生育成事業規程が発足しました。この学生育成事業は大同工業大学に在籍する学生の学業・クラブ活動などに対して援助を行い、大同工業大学をより発展させるために賛同する会員によって支援することが目的であります(詳細については、本会報に掲載されている総会議事録-学生育成事業規程-をご参照ください)。

学生育成事業の運営は賛助会員の年会費および同窓会からの拠出金によって行い、在学生のグループおよび個人のユニークな社会活動や課外活動、クラブ活動等に資金援助を致します。資金援助額はおよそ一件あたり10~20万円の予定をしております。

賛助会員の年会費は **個人賛助会員** 一口 2,000円以上
企業賛助会員(同窓生が勤務する企業) 一口 20,000円以上

と致しております。

この目的に賛同し、在籍する学生育成のために賛助会員となっていただけますよう会員各位にご案内致します。

本事業に企業賛助会員として賛同していただけますと学生進路研究誌に企業情報が掲載できます。

申し込み先 大同工業大学同窓会 学生育成事業運営委員会 (担当 青田、早川)
 郵便振替 大同工業大学同窓会学生育成事業会 名古屋5-2747 (申し込みは随時行っております)
 TEL 052-611-0513 FAX 052-612-5653

学生進路研究誌(仮称)の発刊案内

大同工業大学を卒業し同窓会会員となる同窓生(平成4年度 680名)は、卒業後の進路を決定する際に多くの同窓会会員からの情報を期待しております。これに応えるため、在学生にたいして企業情報を掲載した進路研究誌の発刊を予定いたしております。この進路研究誌は当面のあいだ学生育成事業の企業賛助会員(同窓生が勤務する企業)から、提供された情報を掲載いたします。

会員各位には卒業予定学生のために多くの進路情報を提供していただけるようお願い致します。

掲載資格 学生育成事業企業賛助会員(同窓生が勤務し、年会費1口20,000円以上お申しでの企業)

原稿締切 平成5年11月末(版下渡し)(版下原稿を原寸にてオフセット印刷致します)

体裁・様式 A4版、1企業1ページ

発刊予定数 1,000部

発刊日 平成6年2月末 予定

連絡先 大同工業大学同窓会 学生育成事業運営委員会 TEL 052-611-0513

FAX 052-612-5653

母校のイメージアップ・レベルアップのために……

滝春・大同地区都市再開発研究会(仮称)について

18歳人口の急減期を目前にして、日本の大学は今大きく変わろうとしています。文部省は91年に「大学設置基準」の大改正を行い、これによって各大学はかなり自由なカリキュラム編成ができるようになりました。文部省のこの「平成の大改革」は、近い将来に訪れる大学の自由競争時代に対応するためであります。

あるシミュレーションによると(進学率40%、合格率71%)2000年度の入学者数は61万9000人と推定され、これは90年度の入学者数73万8000人とくらべて、8万9000人の減少となります。この数は入学定員1000人規模の大学89校で入学者数がゼロになるという厳しいものであります。いまや、大学が積極的に学生に働きかける時代、すなわち「大学淘汰時代」を迎えたのであります。このような状況下において私たち同窓会も母校である大同工業大学が21世紀まで生き延びられるように、できるかぎりの支援をしていきたいと考えています。

無くなる”という現象は今まで考えてもみなかったことですが、これは現実のものになりつつあります。大同工大を学生(受験生)にとって魅力ある、また卒業生にとって誇りとなる大学にするために私たち卒業生も努力しなければならないと考えます。

「魅力ある大学」にするためにはいくつかの必要な条件があります。まず優秀な人材、優れた設備、それに、いちばん大切な大学としての環境があげられます。大同工大は南部臨海工業地域に隣接しており、大学のイメージとはほどとおい環境にあることは卒業生の方々には実感されていることと思います。町全体をきれいにして大学を取り巻く環境を整備することは、大学のイメージアップにつながり、優秀な後輩を確保するには最も効果的な方法と考えます。優秀な後輩を育てることで私たち卒業生も大同工大を誇りにすることが出来ます。

この度、卒業生の方々からの提案もあり、大学周辺の滝春町および大同町の都市再開発の立案を同窓会の新規事業として実施したご提案する次第であります。この計画は、平成6年度の同窓会設立30周年記念事業と平行して行い、その成果をパース、コンピュータグラフィックなどを使って内外にアピールする予定です。

最近、生え抜きと言われる若手の教員が大同工大を去って他に移籍するケースが目立っています。大同工大は、学生にとっても教員にとっても、魅力のない大学になってしまったのでしょうか? 母校が

大同工業大学同窓会カード(仮称)の発行について

やがて来る新しい21世紀は、これまでの物質主義から心優しい人間主義に大きく変革するだろうと言われています。いま、我々の生活環境を整備する上では、地球環境の悪化や資源の枯渇化、新技術の開発等々、様々な問題解決を行う手段がいま必要かといえます。このような状況下で同窓会は、世代を超え、職種を超えて、人と人との絆を与え、豊かな社会生活を得るには他に類のないネットワークと考えられます。とかく最近の傾向として大学生活から離れるとともに、以前にも増して日常の仕事が繁忙となり、大学に対する愛校心が薄らいで来ています。これは、会員と同窓会あるいは大学とを結び付ける絆が、会報や懇親会などと折りに触れる機会が数少ないためと考えられます。

そこで将来益々発展するであろう情報社会、カード社会の進展を勘案し同窓会カードを日常携帯することにより、大学に対する愛校精神を日々新たにすることが、より深い会員相互の絆を強める手段となる。

- 1) カードの名称 大同工業大学同窓会VISAカード(仮称)
大同工業大学同窓会VISAゴールドカード(仮称)
- 2) カードの会員 大同工業大学同窓会会則による同窓会会員とその家族
- 3) 会員規約 カードの会員は住友クレジットサービスのVISAカード会員規約による個人契約
- 4) カード会員募集の入会案内
平成6(1994)年1月1日発行予定の同窓会報第21号に掲載予定

☆カード発行による同窓会の利点

- ・同窓会会費の年会費制へ移行後、カード会員から会費の徴収が可能
- ・カード会員への入会時に募集手数料が、さらにカード会員が本カードを利用した場合、その利用金額の約0.4%が提携手数料として住友クレジットサービスよりそれぞれ同窓会に支払われる。(住友クレジットサービスより支払われる募集手数料、提携手数料は学生育成事業の資金として大学の在学学生に援助する)

大同工業大学同窓会 シンボルカラー、キャラクターデザインの募集

明秋、本同窓会は記念すべき30周年を迎えることになります。この節目にあたり、同窓会では大同工業大学同窓会にふさわしいカラー、デザイン、ロゴ等を募集いたします。応募された中から同窓会にとってふさわしいシンボルカラー、キャラクターデザイン、ロゴ等は、同窓会のシンボルキャラクターとして採用する予定であります。採用されたシンボルカラー、キャラクターデザイン、ロゴ等は、今後開催される各イベント、および会報等に広く使用します。各位からの多数の応募をお待ち致しております。

- 応募資格 大同工業大学同窓会会員、在学生および教職員
 応募期限 平成5年9月末日
 様式 特別に定めなし
 応募先 大同工業大学同窓会 TEL 052-611-0513
 FAX 052-612-5653
 (採用分には薄謝および記念品を進呈)

※シンボルカラー、キャラクターデザイン、ロゴ等の著作権は同窓会に帰属し、採用されたものに加筆、修正を行うこともあります。

大同工業大学同窓会 役員 平成3,4,5年度(第13期)

*学内評議員
(任期：平成5年度)

名誉会長	戸澤 康壽 (大同工業大学 学長)		
会長	園原 繁 (64E012)		
副会長	*山田忠比古 (64E025)	安藤 友光 (65E003)	
	加藤 常夫 (66M162)	大谷 隆 (76A023)	
事務局長	*青山 正治 (67M001)		
会計	*井上 孝司 (71M028)	*大矢 郁夫 (72M052)	
	監査	大澤 正 (75E034)	
評議員 (40名)	*杉浦 正勝 (62M023)	新美 一博 (62M030)	武 克治 (63M095)
	*榎田 浩 (63E001)	*早川 謙二 (63E007)	園原 繁 (64E012)
	*山田忠比古 (64E025)	*愛知 久史 (65E001)	安藤 友光 (65E003)
	*関谷 昌久 (65E030)	野村 重信 (66M080)	加藤 常夫 (66M162)
	*富田 和男 (66E033)	名倉 満雄 (66E037)	*青山 正治 (67M001)
	間崎 保 (67M090)	宮本 一男 (67M093)	田辺 幹知 (67M125)
	直江 弘文 (68M165)	下郷 正二 (68M119)	*神谷登司雄 (69M057)
	*矢野 治久 (69M198)	西山 益立 (69E078)	*石川 常夫 (70M077)
	*井上 孝司 (71M028)	小池 昌尚 (71E046)	*大矢 郁夫 (72M052)
	稲垣 俊男 (74E019)	藤原 歳久 (75A140)	大谷 隆 (76A023)
	杉原 和忠 (76A061)	青山 健彦 (77A002)	青山 光子 (77A035)
	片山 勤 (78E046)	梅沢 利章 (81M027)	中洞 智久 (82M170)
宮本 夏男 (85D077)	加藤 雄治 (87D032)	*小堺 貴夫 (88A033)	
小山 祥朗 (88D051)			
事務局長	(P.19 参照)		
支部長	関東支部 宮崎 定典 (62M046)	北陸支部 南 東基 (69M182)	
	大阪支部 佐久間正晃 (63M127)	三重支部 森 十九男 (63M180)	
	豊田支部 加賀日出男 (64M094)	滋賀支部 藤枝 俊樹 (62M077)	
	静岡支部 原田 光康 (67M134)	愛知支部 宮本 一男 (67M093)	
	香川支部 藤岡 幸伸 (68E107)		

おわび

前会報(第19号)で、オーナー紹介記事で、(株)ジュエル・パローレ社長様のお名前が誤っていました。

(誤) 加藤靖夫 → (正) 加藤常夫 に訂正し、お詫びいたします。

同窓会創立30周年記念事業

30周年によせて

同窓会会長 園原 繁

同窓会が設立されて、30周年を迎えることになりました。設立当初を思い浮かべますと、多くの方々に、ご支援ご協力を得て、学内に設置されましたことに深く感謝の意を表します。設立以来、役員はもとより、大学関係者の多大な協力に対し敬意と謝意を表します。

今日のような素晴らしい同窓会に発展できたことは、ひとえにこうした多くの方々の力が結集されたからだと思えます。

今や卒業生も約12,000名の会員数に成長いたしました。社会では、初代学長、故錦織先生の建学精神のもとに、第一線で多くの諸先輩や後輩が活躍され、卒業生の就職先からも多くの求人が就職指導部に依頼されています。これも卒業生の勤勉かつ仕事に対する情熱の結果だと思えます。

又、大学におきましても、多くの変遷がありました。開学当時は、大同校舎だけでありまし

たが、現在では昭和58年竣工による学園本¹及び大学事務系、一般教養関係、また、付属図書館(平成元年竣工)などの施設がある滝春校舎、機械、電気、応電などの研究施設の大同校舎、そして建築系の研究施設を中心とした白水校舎と工科系総合大学として充実されてきました。

支部活動におきましても、全国に9支部と、前年9月には地元²に待望のあいち支部が設立され、誠に喜ばしい次第であります。

いずれにしましても、同窓会30年の歴史の上に立って、益々の発展、充実を遂げなければなりません。これは、当大学を巣立った数多くの卒業生の皆様、深いご理解をいただいた大学関係者の皆様方、卒業生が、心のふる里として、胸を張ってその名が語れるよう、素晴らしい大学目指してたまえない努力をしていきたい³心から願っております。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

あいち支部 支部長 宮本 一男

同窓会の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私も卒業後、早や23年の歳月が流れていきました。

顧みれば、私の半生は卒業生の皆様のご活躍をささえとして、頑張ってきたような気がいたします。誠に感謝いたします。

さて、この度同窓会創立30周年記念行事に向けて企画担当を、あいち支部としてお任せつかり、微力ながら協力させて頂くことになりました。何卒、宜しくお願い申し上げます。

〈テーマ〉 自然を愛でる心のゆとり (仮称)
開催期日 1994年10月30日(日) 午後2時より
場 所 名古屋東急ホテル 中区栄4 (予定)

「企画内容」

1. 総会
2. 記念講演会
3. 記念パーティー…豪華賞品、抽選会
4. 記念事業……………①大同地区、再開発に向けて
②他、独自企画中

同窓会の皆様と共に時代を生き、^{いま}未来^{あす}に向かって歩みたいと思えます。30周年記念の日を、いまから心まちにしております。

何卒、同窓生をお誘いの上、多数のご参加をお願い申し上げます。

その時の出逢いが人生を根底から変えることがある。よき出逢いを!

有限会社 藤技研工業

代表取締役 安藤 友光 65 E

愛知県東海市荒尾町見晴し29番地
TEL<052>603-1602(代)
FAX<052>603-1620

有限会社 モノダス きんたろう

宮崎 定典 62 M

事務所 千葉県浦安市北栄3-9-16-103
TEL (0473) 55-1040
FAX (0473) 55-2210

湖誉設備工業株式会社

代表取締役 藤田 進 67 M

〒454 名古屋市中西区中郷一丁目176番地
TEL<052>361-1124
FAX<052>351-2405

株式会社 みやもと

代表取締役 宮本 一男 67 M

〒454 名古屋市中川区尾頭橋4丁目3番2号
TEL (052) 331-4400
FAX (052) 332-3449
夜間(052) 321-9194

同窓会30周年私たちも協力します
祝

株式会社豊正産業

専務取締役 竹島 誠二 68M

名古屋市港区七番町四丁目14番地
TEL (052) 661-3454 (代表)
FAX (052) 661-0364

有限会社 岩田機械設計

代表取締役 岩田 一夫 67M

〒494 尾西市五城字大下40-1
TEL (0586) 62-3746
FAX (0586) 61-6204

真洋商事株式会社

名古屋市南区岩戸町17番25号
TEL <052> 811-6101
FAX <052> 811-6109

服部 日出夫 67M

白馬
「ロツ子樹林」

TEL <0261> 72-5176 (代)
FAX <0261> 72-3447

梶 義弘 68M

合資会社 袴田ヤスリ製作所

〒448 刈谷市新栄町5-10
TEL (0566) 21-0443 (代)
FAX (0566) 23-8560

西山 益立 69E

愛知県議会議員

直江 弘文

68 M

有限会社 武鐵工所

代表取締役 武 克治 63M

営業所 〒457 名古屋市南区豊一丁目36番7号
TEL <052> 691-7600
工場 〒476 東海市名和町切戸39-3
TEL <052> 603-4145
FAX <052> 603-2456

有限会社 太陽事務機販売

専務取締役 日比野 満 68M

〒454 名古屋市中川区篠原橋通2-11-2
TEL <052> 362-5518 (代)
FAX <052> 361-5278

■大同工業大学同窓会事務局役務構成 93.5現在■

事務局・委員会	委 員	備 考
事務局 局長 会計担当 総務・渉外担当	青山正治 井上孝司、大矢郁夫 矢野治久	
同窓会報編集委員会	◎神谷登司雄、愛知久史、大矢郁夫、中洞智久、片山 勲、宮本夏男、小堺貴夫	会報発行 8月、1月
会員調査・情報管理 委員会	◎関谷昌久、榎田 浩、富田和男、西山益立、小池昌尚	調査および電算機 への入出力
会則・諸規定検討 委員会	◎愛知久史、早川謙二、関谷昌久、下郷正二、井上孝司	草案(弔慰、旅費、 電算、援助)
支部活動運営委員会	幹事(活動支援担当者)	総括担当
支 部	東 山田忠比古 井上孝司 関谷昌久 青山正治 早川謙二 青山正治 大矢郁夫 富田和男 神谷登司雄	
	西 関大 豊 田岡川 静 香北三 北 三 滋 三 滋 あい あ い 枝	
30周年記念行事 実行準備委員会	◎会長、副会長(安藤、加藤、大谷) 井上孝司、石川常夫、田辺幹知、青山正治、宮本一男、山田忠比古、 藤原歳久、藤田憲一、下郷正二、藤田 進	30周年行事
新規事業 企画・準備委員会	◎山田忠比古、杉浦正勝、大矢郁夫、大谷 隆、野村重信、榎田 浩、 関谷昌久	30周年、長期事業、 技術協会
学生育成事業委員会	◎早川謙二、関谷昌久、大矢郁夫、野村重信、西山益立、青山正治、 山田忠比古、小堺貴夫	学生への育成援助 事業

◎印は、委員会のチーフである。
各委員は、学内外の同窓生を対象に、運営状況により参加を求める方向で進める。

会報掲載広告募集(案内)

この度、本会報紙面に広告掲載を実施することとなりました。つきましては、会員各位からの自営、勤務先企業の広告を次の要領で募集いたします。多数の広告提供をお待ちしております。

【募集要領】

掲載誌：大同工業大学同窓会会報(発刊時：8月および1月)

掲載の大きさおよび掲載料：1/10ページ……10,000円 1/5ページ……20,000円

1/2ページ……40,000円 1ページ……80,000円

名刺広告……5,000円

(掲載料は応募戴きました後、別途請求申し上げます。)

体裁：本誌広告をご参照下さい。(原則として、提供いただきました原稿をそのまま縮小掲載いたします。当
局で原稿作成を希望される場合は版作成料金をご負担下さい。なお、名刺広告は名刺を送付下さい。)

原稿送付および問い合わせ先：〒457 名古屋市南区大同町2-21 大同工業大学同窓会事務局 宛

TEL (052) 611-0513 FAX (052) 612-5653

株式会社 タナベフォト企画

代表取締役 田辺 幹知 67M

専務取締役 中山 英二 67M

プロジェクトリーダー 中洞 智久 82M

〒451 名古屋市西区城西4-4-1

TEL (052) 532-1755

FAX (052) 532-5969

名港印刷株式会社

常務取締役 下郷 正二 68M

名古屋市港区築三町3の6

TEL (052) 652-3311 (代)

FAX (052) 652-3315

第28回 同窓会総会・懇談会

於 名古屋ターミナルホテル



会員調査について

当同窓会では、会員各位の所在調査は葉書等書面にて実施致しております。電話等による個別問い合わせは行っておりませんので、ご注意ください。また、ご案内致します。

今回の会報は内容の非常に濃いものとなりました。そのひとつには来年同窓会創立30周年(ちなみに大同工業大学創立30周年の年でもあります)を迎え、記念事業の計画や会則の全面改正(案)記事が掲載されています。読み飛ばした方、もう一度読み返して下さい。さらには、「同窓会VISAカード」発行や「学生育成事業」発足のニュースもあります。また今回より会報に広告掲載を開始いたしました。みなさまからの募集お待ちしております。

編集後記 ◀◀◀◀◀

発行 大同工業大学同窓会
名古屋市南区大同町2-21
TEL (052) 611-0513
FAX (052) 612-5653
責任者 会長 園原 繁
印刷 名港印刷株式会社